

# 鈴木敏彦教授退職記念号発刊によせて

経営学部長 山本 純

『札幌学院大学経営論集』第5号を鈴木敏彦教授退職記念号として発刊します。在任中の鈴木先生のご指導、また商学部、経営学部へのご貢献への感謝の気持ちを表してこの記念号を発刊できることは、札幌学院大学経営学部の喜びとするものであります。

北海道札幌出身の鈴木先生は1963年に中央大学商学部を卒業された後、埼玉県商業高等学校で教育者としてのスタートをきられ、1966年には北海道に戻られ、以降、一貫して道内高等学校教諭を勤めてこられました。1989年北海道中川商業高等学校教頭に就かれて以降は、道内の高等学校校長として高等学校教育の専門家、管理職として北海道の高等教育に貢献されてきました。その間、北海道産業教育審議会委員、全国商業高等学校協会理事、北海道高等学校長協会商業部会長をはじめとする多くの役職を歴任され、教育界に対する社会貢献活動もされてきました。

高等学校校長として最後に勤められた札幌東商業高等学校を2002年に定年退官された後、こうした鈴木先生のご実績から札幌学院大学商学部教授としてお招きし、商業教育の教職課程をご担当いただきました。以降、9年間にわたり本学商学部でご指導いただきました。

本学商学部では教職を希望する学生を熱心に指導いただき、鈴木先生に指導された学生は大きく成長し、高等学校教諭として教職に就くことのできた学生が大勢います。本学における商業教育の教職課程指導の篤さは、商学部の伝統として担当の先生に受け継がれてきましたが、鈴木先生にはこの伝統をさらに篤いものとするため、いろいろとご尽力いただきました。お陰をもちまして、本学商学部出身の高等学校教員の層の厚さは一層増しました。

改めて、鈴木先生の札幌学院大学商学部へのご貢献に深く感謝すると共に、引き続き経営学部に対するご指導とご鞭撻を賜りたくお願い申し上げる次第です。先生の益々のご活躍を祈念して、記念号の挨拶とさせていただきます。